

送付票(本状含め2枚)
宛先 各医療機関
各地区医師会・歯科医師会・
薬剤師会
各市町村
各市町村教育委員会
送信者: 富士・東部保健所 地域保健課

平成29年1月20日
富士・東部保健所

感染症発生動向調査情報(週報)

2017年02週(01月09日～01月15日)

山梨県内流行情報

インフルエンザについては県全域で注意報レベルとなりました。今後、県全体で定点当たりの報告数が増加し、警報レベルとなることが予想されます。また、流行性耳下腺炎が富士・東部保健所管内で注意報レベルとなりました。これらの感染症を予防するためには、咳エチケットの励行、手洗い、うがいなどを行いましょ。感染性胃腸炎については、引き続き中北保健所管内で警報レベルとなっており、県全体でも流行している状態です。十分に加熱された食品の喫食、手洗いに心がけ、患者の嘔吐物や糞便を処理する際には、十分注意しましょ。

【今週の警報】: 感染性胃腸炎(中北保健所管内)

【今週の注意報】: インフルエンザ(中北保健所管内、中北保健所峡北支所管内、峡東保健所管内、峡南保健所管内、富士・東部保健所管内)、流行性耳下腺炎(富士・東部保健所管内)

富士・東部管内流行情報

インフルエンザと流行性耳下腺炎が注意報入りしました。流行性耳下腺炎は「おたふくかぜ」とも言われ、3～6歳の小児に多く見られます。2～3週間の潜伏期を経て、片側あるいは両側の唾液腺の腫脹を特徴とするウイルス感染症です。通常1～2週間で軽快します。感染経路は、接触あるいは飛沫であり、感染力はかなり強いと言われていましょ。有効な予防はワクチンのみですが、マスクの着用や咳エチケット等の予防対策を徹底しましょ。また、インフルエンザは手洗い・うがい・マスク着用以外に、加湿器などで湿度を保つ事も有効な予防手段です。山梨県インフルエンザ流行マップをご参照ください。

定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	75576	15.25	1176	0.37	906	0.29	4585	1.45	20506	6.48	1366	0.43
山梨県	719	17.54	5	0.21	14	0.58	41	1.71	290	12.08	5	0.21
中北	276	19.71	1	0.13	1	0.13	8	1	111	13.88	2	0.25
中北峡北	155	19.38	2	0.4	4	0.8	29	5.8	77	15.4	3	0.6
峡東	143	20.43	-	-	1	0.25	2	0.5	40	10	-	-
峡南	36	12	-	-	-	-	-	-	7	3.5	-	-
富士・東部	109	12.11	2	0.4	8	1.6	2	0.4	55	11	-	-
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	447	0.14	297	0.09	1208	0.38	21	0.01	103	0.03	2694	0.85
山梨県	3	0.13	1	0.04	8	0.33	-	-	1	0.04	34	1.42
中北	1	0.13	1	0.13	7	0.88	-	-	-	-	8	1
中北峡北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	1.2
峡東	2	0.5	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	2
富士・東部	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.2	16	3.2
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	11	0.02	410	0.59	9	0.02	13	0.03	341	0.72	10	0.02
山梨県	1	0.11	5	0.56	1	0.1	-	-	15	1.5	-	-
中北	-	-	-	-	1	0.33	-	-	5	1.67	-	-
中北峡北	1	0.5	1	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	1	0.5	-	-	-	-	9	4.5	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	3	1.5	-	-	-	-	1	0.5	-	-

(次ページあり)

山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	2週		1週		52週		51週	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	増加しています	流行しています	17.54	719	10.2	418	7.17	294	8.61	353
RSウイルス感染症	横ばいです	平年並みです	0.21	5	0.21	5	0.46	11	0.54	13
咽頭結膜熱	横ばいです	たいへん流行しています	0.58	14	0.25	6	0.38	9	0.58	14
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	横ばいです	平年並みです	1.71	41	0.63	15	1.17	28	1.5	36
感染性胃腸炎	横ばいです	大変流行しています	12.08	290	10.58	254	16.88	405	25.42	610
水痘	横ばいです	平年より少ない発生数です	0.21	5	0.42	10	0.21	5	0.38	9
手足口病	横ばいです	平年並みです	0.13	3	0.21	5	0.25	6	0.54	13
伝染性紅斑	横ばいです	平年並みです	0.04	1	0.08	2	0.13	3	0.13	3
突発性発疹	横ばいです	平年並みです	0.33	8	0.08	2	0.33	8	0.08	2
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	0.04	1	-	-	-	-	0.04	1
流行性耳下腺炎	増加しています	平年よりも多い発生数です	1.42	34	0.67	16	0.63	15	1	24
急性出血性結膜炎	-	-	0.11	1	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	横ばいです	平年並みです	0.56	5	0.56	5	0.11	1	1.22	11
細菌性髄膜炎	-	-	0.1	1	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	横ばいです	平年よりも多い発生数です	1.5	15	0.9	9	0.9	9	1.6	16
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

全数報告の感染症

なし